

メールマガジンアーカイブ

2009/7/31 井上さん、ついに投資家になる！！(8)

メルマガアーカイブTOPに戻る

▶ リスクマネジメントラボラトリーのHPへ



～ 井上さん、ついに投資家になる！！(8)～
証券会社を変更！！ その理由とは？

こんにちは、リスクマネジメント・ラボラトリー 代表の中澤です。

このシリーズでは積立投資についてRML社のスタッフの例を対談形式でお伝えしたいと思います。

37歳女性・RML社IT戦略室の井上が、将来の為に資産運用をどうすればよいか？（まったくの素人）相談を始めました。。。



[前回のコラム「井上さん、ついに投資家になる！！\(7\)」バックナンバーへリンク](#)

井上さんの投資の現状(2009年6月末)

	累計投資額	現在の評価額	評価損益	評価損益率
2008年6月末	2,100,000	1,853,005	-246,995	-11.76%
2008年9月末	2,400,000	1,789,743	-610,257	-25.42%
2008年12月末	2,700,000	1,699,959	-1,000,041	-37.04%
2009年3月末	3,000,000	1,986,308	-1,013,692	-33.79%
2009年6月末	3,300,000	2,574,375	-725,625	-21.99%



毎月の積立	1,000,000	2007年9月から毎月10万円。累計投資月数22ヶ月。
2008年2月	600,000	毎月積立している4種類のファンドを追加購入。
2008年4月	500,000	数年で解約する可能性もある資金なので海外債券ファンドを購入。

- 後日 -

井上 ずいぶんと回復してきましたね。

中澤 以下は6月下旬のニュースですが、一時のように悲観一色ではなくなり、焦点は金融危機から景気動向に移ってきているようですね。



日本経済新聞社が27日まとめた「社長100人アンケート」によると、国内景気が半年前より「改善」または「改善の兆しがある」とみる経営者が約5割と前回調査(3月)の0.7%から大幅に増え、昨年3月の調査以来1年3カ月ぶりに「悪化」を上回った。

全国銀行協会の永易克典会長(三菱東京UFJ銀行頭取)は23日の記者会見で輸出や鉱工業生産などの指標が足元プラスで推移していることなどを踏まえ「景気は夏場に底入れするのでは」との見通しを示す一方で「景況感が依然として非常に厳しい状況にあるのは不変。リスクシナリオ次第では、がくっと落ち込むことはありうる」とも指摘しました。

米著名投資家ウォーレン・バフェット氏は24日、米経済テレビ局CNBCに出演し、「(米国の)景気はまだ回復基調にはない」と慎重な見方を示した。金融市場の混乱は落ち着いてきているが、「経済問題を解決するにはもう少し時間が必要」と述べた。

このような状況を受けて、日経平均株価は8109.53(3月末)から9958.44(6月末)へ約22%、NYダウ平均株価は同じく7608.92(3月末)から8447.00(6月末)へ約11%、それぞれ上昇しました。

井上 そうですね。10,000円回復とニュースでいっていました。このままどんどん上がると良いですね。

中澤 個人的な見解ですが、本格的な回復には時間がかかるのではないのでしょうか？

昨年末には誰でも知っている大企業ですら資金繰りの心配をしていたわけですが、そのような状況からは脱したと良いでしょう。一方ではまだ本格的に景気回復をしたわけではありません。

各種の景気指標も良いものと悪いものが交互に出てくるような状況でしょう。知り合いの人材紹介会社の経営者の方の話では人材の登録は次々くるが求人ほとんどない状態だとのこと。



井上 何回も聞いていると思いますが、私のように長期投資の場合はそのような状況であってもいままで通り継続していけば大丈夫ですね。

中澤 従来からお話しているようにグローバルに幅広く分散をされていて、十分に時間をかけることができれば問題はありません。ところで今日は一つご案内があるのですが。

井上 ???

中澤 私たちリスクマネジメント・ラボラトリーは金融商品仲介業を営んでいます(金融商品仲介業についてはこちらをご参照ください。ちなみに私も紹介されています。http://www.nikko.co.jp/SEC/ifa/chukai/01_chukai/chukai01.html)。

この仕組みを利用して井上さんには日興コーディアル証券の口座を開設していただき投資信託を購入していただいています。当社の場合には日興コーディアル証券のほかに楽天証券、PWM日本証券と契約をしています(6月末)。

<http://www.fsa.go.jp/menkyo/menkyoj/chuukai.pdf>

(金融庁/金融商品仲介業者一覧)

通常、投資信託や年金、生命保険などの金融商品を購入する場合は、ある特定の証券会社や銀行と取引をするケースが多いと思います。その場合はどうしてもその金融機関で取り扱っている商品の中から勧められることが多くなりますが当社の場合であればお客様のご要望などをよく伺って最も適した商品を選択することができます。

ちなみに生命保険の場合は、入院保険はA社、終身保険はB社、といった具合に20社を越える保険会社の中から選択、組合せをすることができます。

いま、日興コーディアル証券で取引をしていますが、それを**楽天証券に変えたらどうか**、というご相談をしたいと思います。

井上 ???

中澤 投資信託を利用し、幅広く分散投資をし、長期間保有する、という基本的な考え方、やり方はいままでと何も変わりません。まずは今回、楽天証券で募集開始になったファンドについて説明しますね。

キーワードは『安心』して『長期保有』できる、です。

【商品の詳細は販売用資料・目論見書をご覧ください。】

[楽天証券にリンク。](#)

特徴としては

- (1) グローバル分散
- (2) ファンドの中身はETFなので市場連動型
- (3) バランスファンドなので自動的にリバランスされる
- (4) 運用期間などに応じた3つのタイプから選択

という特徴があります。これは基本的な考え方は従来と同じですね。今度のファンドはさらに以下のような特徴があります。

- (5) 運用会社からの情報提供
- (6) 購入時手数料なし

(1)~(4)は従来と同じ考え方です。資金の目的や運用期間に応じて株式と債券の配分を決め、それぞれを幅広く国際分散する。さらに市場連動型なので運用成績がファンドマネージャーの好不調に左右されません。これは安心して長期投資をするにあたって大切なことです。

幸い当社のお客様ではいらっしゃいませんでしたが、この1年の大荒れの市場環境の中、最も安いときに資金が必要でないにもかかわらず不安から投げ売りした方も多くいらっしゃいました。仮に運用会社などのマーケットの専門家からきちんと状況を伝えてもらうことができたなら必要のない売却をしなくても良かったかもしれません。(5)はそういった意味でとても重要です。運用会社からのレポートを充実してもらい、場合によってはセミナーなどを通じて情報発信をしてもらう予定です。自分のお金を預けているファンドを『誰が』『どのように』運用・管理しているのかわかる『顔の見える商品』になります。

井上 それは良いですね。私の場合、3ヶ月ごとにこの原稿のためではあっても中澤さんから話を聞くことができたので安心でしたが、年末年始ごろの経済状況では不安でやめたくなる方がいても不思議ではありませんよね。

中澤 井上さんは毎月10万円づつ積立をしていますが、購入時には約2%程度、細かい話ですが2,000円程度の手数料がかかっています。1回の買い付けでは2,000円程度ですが30年だと何十万円にもなります。楽天証券でこのファンドを購入する場合、手数料は無料です。さらに楽天証券と契約をしている当社経由で口座開設をしていただければこのファンドに限らずファンド選択のアドバイスも提供できます。

井上 いい事尽くめようですがそれで中澤さんの会社はやっていけるんですか？

中澤 投資信託の残高に対して楽天証券からフィーが出る仕組みになっていますので大丈夫です。お客様の利益と関係のない売り買いの手数料ではなく残高に対してなので、お客様が安心して長く保有していただくことが当社にとっても利益になります。お客様と利害が一致しますので、その意味でも安心だと思えます。勿論、残高に対してお客様が負担する手数料(信託報酬)も現状と大差ありません。

ご提案(1): 楽天証券に新たに口座開設をして新ファンドを毎月の10万円の積立をする。現在、日興にあるものはそのまましておく。

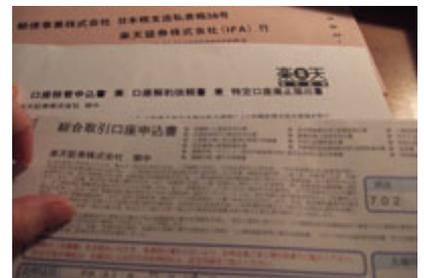
ご提案(2): (1)と同時に日興で購入したものを一度売却し、その資金も含めて楽天証券で新ファンドの購入をする。

井上 (1)は、投資に対する期待が同等であるなら**今後の手数料が少なくなるので是非そのようにしたい**と思います。(2)は今まで日興で購入したものを**マイナスの状態で売却することになる**わけですが、そのあたりはどのように考えればよいのですか？

中澤 理屈上は安くなったものを売却して、同じような性格のものを安い時期に購入するのでそれによる有利不利はありません(取得価格は変わります)。新たに購入するファンドは購入時の手数料もかかりませんしね。

ただ、以前にもお話していますがお金に関しての感じ方は人によって異なるので**井上さんにとってストレスがないほうを選ぶのが良い**と思います。

余談ですが、このファンドの商品設計の段階で当社のお客様のご要望や安心して有していただくための条件などを投資信託会社にも伝え、それらの一部を形にしてもらいました。これを作ったから売れ、というものではなくお客様が望んでいるものを作ってもらったので私自身もとても楽しみにしています。



井上 提案(2)にします。楽天証券の口座開設用紙を送ってください。

楽天証券の口座開設の
お申込はこちら

お問合せはこちら

	20%	10%	50%	20%	100%	100%
	日本大型 株ファンド	日本小型 株ファンド	海外株 式ファン ド	アジア株 式ファンド	ポートフォ リオの推移	国際分散 型バラ ンスファン ド
2007年9月	200,000	100,000	500,000	200,000	1,000,000	1,000,000
2007年12月	182,545	90,123	481,786	190,686	945,141	954,015
2008年3月	150,988	68,768	380,832	137,950	738,538	819,982
2008年6月	164,223	71,114	396,005	136,826	768,168	849,220
2008年9月	136,177	55,008	319,970	99,284	610,439	735,883
2008年12月	107,526	43,439	215,248	68,995	435,209	595,302
2009年3月	97,175	41,297	207,092	75,345	420,909	582,771
2009年6月	116,547	52,776	251,331	99,130	519,784	736,756

上記表は、2007年9月末に上記配分で100万円の投資を開始したとして、その後の基準月末の各ファンドの基準価額等および投資ポートフォリオの推移を表したもので当コラムを理解するための手助けを目的として作成をしています。月次の積立や追加の購入は反映していません。

【投資信託の手数料について】

- ・保有にかかわる信託報酬については控除後です。
- ・購入時手数料については考慮していません。
- ・分配金が出た場合は非課税で再投資をするものとします。

以上のような理由によりコラムの内容および実際の投資成果とは異なります。データについては信頼できるものを利用してありますが正確性を保証するものではありません。

上記表は株式市場の変動やその推移が実際の商品や資産形成に与える影響を擬似的に体験するためのものです。この表をもって特定の商品を推奨するものではありません。また、採用している投資信託は元本を保証するものではありませんので解約時期によっては元本割れをする場合があります。このコラムは2009年7月10日に行われた面談をもとに書かれています。

上表は株式のみのポートフォリオを採用しているため、参考までに債券が含まれた国際分散型バランスファンドのデータも併記しています。

国際分散型バランスファンドの基本資産配分

- 日本大型株式：23%
- 日本小型株式：10%
- 米国株式：15%
- 欧州株式：13%
- アジア太平洋株式：4%
- 日本債券：17%
- 海外債券：18%

投資についての疑問、質問等はずはお気軽にメールにてご相談ください。メールにて対応させていただきます。

 積立投資について、相談したい

是非、コンシェルジュにご相談ください！

